

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 学校設定 科目 歴史教養

教科: 学校設定 科目: 歴史教養 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第3学年 組~ 組
 教科担当者: 小野崎 尊和

使用教科書: 『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』(山川出版社)
 教科 学校設定
 の目標:
 【知識及び技能】日本や世界の地域的特色や歴史の展開について理解するとともに、地図や統計、史料を読み取る力
 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力
 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に授業や社会に関わりようとする力

科目	歴史教養	の目標:
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識: 歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中を広く相互的な視野から捉え、歴史を理解する。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを利用して多面的・多角的に考察し、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したり表現する力を養う。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。
技能: 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につける。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	【知識及び技能】 私たちの生活や身近な地域の事象が歴史につながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活や身近な地域の事象を歴史と関連づけて考察し、表現する力。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的かつ対話的に学びを追究する態度を養う。	【指導事項】 歴史の部 ①歴史と私たち ②歴史の特質と資料 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でレポートを活用。	【知識・技能】 石器を見て、打製石器と磨製石器の違いを理解している。土器を見て、縄文土器と弥生土器の違いを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 黒曜石を使った打製石器づくりに意欲的に取り組み、歴史への興味・関心を持つ。		○	○	○	4
	【知識及び技能】 自分が学びたい、進みたい分野の歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が学びたい、進みたい分野の歴史について考察・発表を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的かつ対話的に学びを追究する態度を養う。	【指導事項】 歴史を通して発表する力を身につける【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でレポートを活用。	【知識・技能】 発表の方法調べなど、発表の基本的な知識を理解している。 【思考・判断・表現】 中間発表を通して、何が問題なのかを考察できる。発表を通して表現力が高まった。 【意欲的に学習に取り組む態度】 発表の事前事後で、意欲的に学習に取り組んでいる。		○	○	○	10
	【知識及び技能】 産業革命による工業化、中国の開港と日本の開国、世界市場の形成などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 世界市場の形成などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学習する態度を養う。	【指導事項】 ＜第1部 第1章 結びつく世界と日本の開国＞ 「近代化と私たち」について問を①18世紀の東アジアにおける社会と経済 ②貿易が結んだ世界と日本 ③産業革命 ④中国の開港と日本の開国 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でレポートを活用	【知識・技能】 産業革命による工業化、中国の開港と日本の開国、世界市場の形成などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 世界市場の形成などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。		○	○	○	14
	定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけている。		○	○		1
2 学期	【知識及び技能】 市民革命、ナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学習する態度を養う。	【指導事項】 ＜第1部 第2章 国民国家と明治維新＞ ①市民革命 ②国民国家とナショナリズム ③明治維新 ④日本の産業革命 ⑤帝国主義 ⑥東洋の舞台や大衆化と私生活 ⑦日露戦争と東アジアの激動 「近代化と現代的な諸課題」について考察、表現する。 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でレポートを活用	【知識・技能】 市民革命、ナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 市民革命などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。		○	○	○	8
	【知識及び技能】 第一次世界大戦と戦後の国際協調体制の成立、ソヴェト連邦の成立などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学習する態度を養う。	【指導事項】 ＜第2部 第3章 総力戦と社会運動＞ ①国際秩序の変化や大衆化と私たち ②第一次世界大戦の展開 ③ソヴェト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ④ヴェルサイユ体制とワントン体制 ⑤世界経済の変容と日本 ⑥アジアのナショナリズム ⑦消費社会と大衆文化 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でレポートを活用	【知識・技能】 第一次世界大戦と戦後の国際協調体制の成立、ソヴェト連邦の成立などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。		○	○	○	8
	定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけている。		○	○		1
	【知識及び技能】 世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学習する態度を養う。	【指導事項】 ＜第2部 第4章 経済危機と第二次世界大戦＞ ①世界恐慌の時代 ②ファシズムの権威と共産主義 ③日中戦争の展開 ④第二次世界大戦の展開 ⑤第二次世界大戦下の社会 ⑥国際連合と国際経済体制 ⑦占領と戦後改革 ⑧冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ⑨日本の独立と日米安全保障条約 【国際秩序の変化や大衆化と現代的な課題】について考察・表現する。 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でレポートを活用	【知識・技能】 世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。		○	○	○	14
定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけている。		○	○		1	
3 学期	【知識及び技能】 脱植民地化と第三世界の形成、核兵器をめぐる緊張と緩和、高度経済成長などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 脱植民地化などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 高度経済成長などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学習する態度を養う。	【指導事項】 ＜第3部 第5章 冷戦と世界経済＞ 「グローバル化と私たち」について問を表現する ①冷戦の地域戦争と脱植民地化 ②東西両陣営の動向と1960年代の社会 ③軍拡競争から緊張緩和へ ④地域連携の形成と展開 ⑤計画経済とその波及 ⑥日本の高度経済成長 ⑦アジアのなかの戦後日本 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でレポートを活用	【知識・技能】 世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。		○	○	○	4
	【知識及び技能】 ドットコムとオイルショック、開発途上国、冷戦の終結とソ連の崩壊、地域統合と地産地消などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 石油危機などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 高度経済成長などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学習する態度を養う。	【指導事項】 ＜第3部 第6章 世界秩序の変容と日本＞ ①石油危機 ②アジア諸地域の経済発展 ③市場開放と経済の自由化 ④情報技術革命とグローバルゼーション ⑤冷戦の終結とソ連の崩壊 ⑥現代の東アジア ⑦東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化	【知識・技能】 世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し、文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。		○	○	○	4
	定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけている。		○	○		1
	合計							70

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学B

教科: 数学 科目: 数学B 単位数: 単位
 対象学年組: 第3学年 1組～8組
 教科担当者: (1組:) (2組:) (3組: 山口) (4組:) (5組: 山口) (6組: 山口)
 (7組:) (8組: 山口)

使用教科書: (数研出版 高等学校 数学B)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を培う。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに關する技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的に論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数列と一般項 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、和を求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 数列の定義、表記について理解している。 【思考・判断・表現】 数列の定義からその規則性を推定して数列の一般項を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数列の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする。	○	○	○	6
等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 【知識及び技能】 等差数列・等比数列の一般項や和を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、和を求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。複利計算に	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 等差数列・等比数列の一般項や和を理解している。 【思考・判断・表現】 数列の和の求め方を考察できる。等差数列・等比数列の和を求め方を工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 等差数列・等比数列の和の公式を自ら導こうとする。複利計算に興味をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	6
1学期 和の記号 階差数列 いろいろな数列の和 【知識及び技能】 Σ の計算ができる。階差数列を利用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数列の和を記号で表して簡単に計算する方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 階差数列に興味を持ち考察しようとする。	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 Σ の計算ができる。階差数列を利用して一般項を求めることができる。工夫をして和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数列の和を記号で表して簡単に計算する方法を工夫する。数列の規則性を発見する。 【主体的に学習に取り組む態度】 階差数列に興味を持ち考察しようとする。具体的な事象の考察に階差式を積極的に活用しようとする。	○	○	○	5
1章2節確認テスト			○	○		1
漸化式 数学的帰納法 【知識及び技能】 漸化式から一般項を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既知の漸化式に帰着させて複雑な漸化式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象の考察に漸化式を積極的に活用しようとする。	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 漸化式から一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 既知の漸化式に帰着させて複雑な漸化式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象に漸化式を活用しようとする。	○	○	○	5
1章3節確認テスト			○	○		1
確率変数と確率分布 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分布の特徴を把握できるようにする。	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解する。 【思考・判断・表現】 試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率分布について積極的に考察しようとする。	○	○	○	5
確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積 二項分布 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分布の特徴を把握できるようにする。	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 期待値、分散、標準偏差を求めることができる。和と積の期待値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率変数の和の期待値を、複雑な場合に活用する。	○	○	○	8
2学期 確率変数の和と積 二項分布 正規分布 【知識及び技能】 独立な確率変数の積の期待値、二項分布に従う確率変数の期待値、分散を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な事象を二項分布として捉え、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 二項分布のグラフに関心をもち、調	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 独立な確率変数の積の期待値を求めることができる。 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 二項分布のグラフに関心をもち、調べてみようとする。	○	○	○	8
2章1節確認テスト			○	○		1
統計的な推測 【知識及び技能】 日常の身近な問題を統計処理するために、正規分布を利用する。 【思考力、判断力、表現力等】 正規分布を利用して現実のデータについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なデータについて考察しようとする。	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。母集団標本、標本平均について理解し、仮説検定ができるようにする。	【知識・技能】 日常の身近な問題を統計処理するために、正規分布を利用できる。 【思考・判断・表現】 正規分布を利用して現実のデータについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なデータについて考察しようとする。	○	○	○	16
2章2節確認テスト			○	○		1
3学期 問題演習	数列や統計的な推測について理解し、それらを様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的に論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	○	○	○	6
					合計	70

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 物理

教科: 理科 科目: 物理 単位数: 6 単位

対象学年組: 第3学年 1組~ 8組

教科担当者: 安田

使用教科書: (数研出版 物理707・708 総合物理)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第1編 力と運動 物体の運動についての観察、実験などをとおして、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 様々な運動について、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 様々な物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動と剛体のつり合い、運動量、円運動と単振動、万有引力、気体分子の運動における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・第5章 円運動と万有引力 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。 (評価方法) 演習、課題プリント・ロイロノート・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 課題プリント・振り返りシート	○	○	○	20
	第3編 波 水面波、音、光などの波動現象についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 波について、日常生活や社会と関連付けて、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 波について、観察、実験などを通して探究し、波の広がり方、音、光における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・第3章 光 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms	○	○	○	14	
	定期考査		○	○		1	
	第4編 電気と磁気 磁気に関する現象についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 磁気について、日常生活や社会と関連付けて、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 磁気について、観察、実験などを通して探究し、電気と電流における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・第4章 電気と磁気 第3章 電流と地場 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms	○	○	○	36	
定期考査		○	○		1		
2 学期	第4編 電気と磁気 磁気に関する現象についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 電磁誘導、電磁波について、日常生活や社会と関連付けて、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 電磁誘導、電磁波について、観察、実験などを通して探究し、電気と電流における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・第4章 電磁誘導と電磁波 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。 (評価方法) 演習、課題プリント・ロイロノート・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 課題プリント・振り返りシート	○	○	○	20
	第5編 原子 電子、原子及び原子核に関する現象についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 原子について、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 原子について、観察、実験などを通して探究し、電子と光、原子と原子核における規則性や関係性を見いだして表現すること	・第6編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核 一人一々端末の活用 ロイロノート、Forms	○	○	○	20	
	総合演習 【知識及び技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習	○	○	○	38	
3 学期	総合演習 【知識及び技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。 (評価方法) 演習、課題プリント・ロイロノート・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 課題プリント・振り返りシート	○	○	○	60
合計						210	

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学

教科: 理科 科目: 化学 単位数: 6 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: 原田 聡

使用教科書: (数研出版 化学 706 化学)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第3編 無機物質</p> <p>【知識及び技能】 無機物質について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、典型元素、遷移元素の性質における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>第1章 非金属元素 第2章 金属元素 (I) - 典型元素- 第3章 金属元素 (II) - 遷移元素-</p>	<p>【知識・技能】 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。 (評価方法) ドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) ドリル・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 実験プリント・ドリル・振り返りシート</p>	○	○	○	40
1 学期 定期考査			○	○		1
<p>第4編 有機化合物</p> <p>【知識及び技能】 有機化合物について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 第4章 芳香族化合物</p>		○	○	○	40
定期考査			○	○		1
<p>第5編 高分子化合物</p> <p>【知識及び技能】 高分子化合物について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物 終章 化学とともに歩む</p>		○	○	○	50
定期考査			○	○		1
2 学期 第1編 物質の状態	<p>第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液</p>		○	○	○	26
第2編 物質の変化	<p>第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡</p>		○	○	○	26
定期考査			○	○		1
3 学期 総合演習	大学共通テスト・入試問題演習		○	○	○	24
						合計
						210

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 理科 科目 生物

教科: 理科 科目: 生物

単位数: 6 単位

対象学年組: 第3学年 1組~ 8組

教科担当者: 関口 直男

使用教科書: (数研出版 生物)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学期	第1章 生物の進化 第2章 細胞と分子 生物の進化についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生物の進化について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 イ 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現すること	第1章 生物の進化 第2章 細胞と分子	【知識・技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	26
	第3章 代謝 第4章 遺伝情報の発現と発生 生命現象と物質についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生命現象と物質について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 イ 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、生命現象と物質についての特徴を見いだして表現すること	第3章 代謝 第4章 遺伝情報の発現と発生		○	○	○	46
	第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答 生物の環境応答についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生物の環境応答について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 イ 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現すること	第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答	【知識・技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	28
	第7章 生物群集と生態系 生態と環境についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生態と環境について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物間の関係性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。	第7章 生物群集と生態系		○	○	○	30
総合演習 【知識及び技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習		○	○	○	20	
2 学期	総合演習 【知識及び技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習	【知識・技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	60
	合計						210

保谷 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 3 単位

対象学年組: 第3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者: (1～8組: 小林・大山・青木・三浦・指田・岡元・上島・遠藤)

使用教科書: ()

教科 保健体育 の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、健康を大切に、自己の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとする。

【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指す総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

【学びに向かう力、人間性等】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、健康を大切に、自己の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとする。

科目	体育	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数	
1 学 期	A 球技 (フットボール)	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がわかること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・パス、サーブ、アタック ・スキルテスト ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 攻守の両方について、勝敗を懸けたチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術的な名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技的な方法を理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組む方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなど、健康・安全を確保すること。					8
	B 球技 (フットボール)	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がわかること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・技を伸ばすために意欲的に取り組むことができる。 ・怪我がないようマナーを大切にすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・フォアハンド、バックハンド ・ストローク、ボレー、サーブ ・スキルテスト ・リーグ戦 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 攻守の両方について、勝敗を懸けたチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術的な名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技的な方法を理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組む方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなど、健康・安全を確保すること。					8
	C 球技 (フットボール)	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がわかること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・技を伸ばすために意欲的に取り組むことができる。 ・怪我がないようマナーを大切にすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・フォアハンド、バックハンド ・ストローク、ボレー、サーブ ・スキルテスト ・リーグ戦 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 攻守の両方について、勝敗を懸けたチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術的な名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技的な方法を理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組む方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなど、健康・安全を確保すること。					8
2 学 期	D 水泳	【知識及び技能】 ・各種の動きのポイントを理解し、意識した動きを実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・競技観戦に向けて意欲的に取り組むことができる。 ・ルールやマナーを大切にすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ ・個人メドレー ・100m計測	【知識・技能】 泳ぎの向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術的な名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、効率的な泳ぎをすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・泳ぎに主体的に取り組むとともに、競争相手を尊重し、責任を重たそうとする。一人一人の違いに応じた課題や観戦を大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなど、健康・安全を確保すること。					6
	E 球技 (サッカー)	【知識及び技能】 ・パスやドリブルなどのボール操作と仲間と連携して自陣から相手ゴール前へ侵入するための攻撃や、その動きに反応して空間を埋めるなどの防衛の動きまで攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・パス、ドリブル、シュート ・スキルテスト ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 攻守の両方について、勝敗を懸けたチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術的な名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技的な方法を理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組む方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなど、健康・安全を確保すること。					8
3 学 期	F 球技 (バレーボール)	【知識及び技能】 ・攻撃に対する安定したバント操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻守を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・キャッチボール、バッドイン ・ゲーム ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 攻守の両方について、勝敗を懸けたチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術的な名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技的な方法を理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組む方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなど、健康・安全を確保すること。					8
合計									
46									

保谷 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 スポーツⅡ

教科: 保健体育 科目: スポーツⅡ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第3 学年 1組～ 8組

教科担当者: (1～8組: 小林 関元・上島)

使用教科書: ()

教科 保健体育 の目標

運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論に【知識及び技能】を【理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。】

自己や仲間の問題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指す総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。【思考力、判断力、表現力等】

運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もう【学びに向かう力、人間性等】としている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目	スポーツⅡ	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	担当 時数
1 学 期	A球技「イ ネット型(のびのび)」 【知識及び技能】 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・パス、サーブ、アタック ・ゲーム	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を懸ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ・ゲーム型では、状況に応じたボール操作と空気を埋めるなどの動きによって空間への侵入から攻防をすること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合いの場を創出することなど、健康・安全を確保すること。	○	○	○	8	
	B球技「イ ネット型(卓球)」 【知識及び技能】 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 技を伸ばすために意欲的に取り組むことができる。 ・怪我がないようマナーを大切にすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・サーブ、ツッツキ、スマッシュ ・リーグ戦	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を懸ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ・ゲーム型では、状況に応じたボール操作と空気を埋めるなどの動きによって空間への侵入から攻防をすること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合いの場を創出することなど、健康・安全を確保すること。	○	○	○	8	
	C球技「イ ネット型(テニス)」 【知識及び技能】 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 技を伸ばすために意欲的に取り組むことができる。 ・怪我がないようマナーを大切にすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・フォアハンド、バックハンド ・ストローク、ボレー、サーブ ・リーグ戦	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を懸ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ・ゲーム型では、状況に応じたボール操作と空気を埋めるなどの動きによって空間への侵入から攻防をすること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合いの場を創出することなど、健康・安全を確保すること。	○	○	○	8	
2 学 期	E球技「イ ネット型(のびのび)」 【知識及び技能】 パスやドリブルなどのボール操作と仲間と連携して自陣から相手ゴール前へ侵入するなどの攻撃や、その動きに対応して空間を埋めるなどの防御の動きで攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・パス、ドリブル、シュート ・ゲーム	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を懸ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ・ゲーム型では、状況に応じたボール操作と空気を埋めるなどの動きによって空間への侵入から攻防をすること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合いの場を創出することなど、健康・安全を確保すること。	○	○	○	6	
	F球技「イ ネット型(サッカー)」 【知識及び技能】 パスやドリブルなどのボール操作と仲間と連携して自陣から相手ゴール前へ侵入するなどの攻撃や、その動きに対応して空間を埋めるなどの防御の動きで攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・キックボール、パッディング ・ゲーム	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を懸ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ・ゲーム型では、状況に応じたボール操作と空気を埋めるなどの動きによって空間への侵入から攻防をすること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合いの場を創出することなど、健康・安全を確保すること。	○	○	○	8	
	F球技「イ ネット型(フットサル)」 【知識及び技能】 パスやドリブルなどのボール操作と仲間と連携して自陣から相手ゴール前へ侵入するなどの攻撃や、その動きに対応して空間を埋めるなどの防御の動きで攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切に、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・キックボール、パッディング ・ゲーム	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を懸ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ・ゲーム型では、状況に応じたボール操作と空気を埋めるなどの動きによって空間への侵入から攻防をすること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合いの場を創出することなど、健康・安全を確保すること。	○	○	○	8	
3 学 期								
合計								46

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する特質について理解し、表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わうことができる。

【学びに向かう力、人間性等】 互いの存在、表現を認め合い、高め合う力を育成する。

科目 音楽表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようになる。	主体的、協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	歌唱	声楽の基礎 呼吸法、発声法 コンコーネ、コールユーブンゲン 楽典、ソルフェージュ、器楽合奏	○			○	【知識・技能】 きちんとした発声を意識しているか。 【思考・判断・表現】 曲想に合った音色で歌っているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み うとしている。	○	○	○	4
	器楽	器楽合奏の楽曲決定、練習		○		○	【知識・技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技 能、及び他者との調和を意識して演奏する技 能を身に付け、表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、 形式、構成を知覚し、それらの働きを感受し ながら、知覚したことと感受したこととの関	○	○	○	9
2 学 期	歌唱	声楽の基礎 呼吸法、発声法の工夫 ソルフェージュ 二重唱曲の歌唱、器楽合唱	○			○	【知識・技能】 きちんとした発声を意識しているか。 【思考・判断・表現】 曲想に合った音色で歌っているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み うとしている。	○	○	○	8
	器楽	器楽合奏の練習				○	【知識・技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して 演奏する技能を身に付け、表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働 きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ど のように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と手拍子や足踏み、音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して 演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組みう としている。	○	○	○	10
3 学 期	鑑賞	ミュージカル				○	【知識・技能】 音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 曲や演奏に対する評価とその根拠につ いて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協 働的に鑑賞の学習活動に取り組みうとしている。	○	○	○	3
合計											34

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科

芸術 科目 書道 I (趣味書道)

教科: 芸術 科目: 書道 I (趣味書道) 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 8 組
 教科担当者: (1~8組: 河野聖夏 (2組:) (3組:) (4組:) (5組:) (6組:) (7組:) (8組:)
 使用教科書: (光村図書 書 I)
 教科 芸術 の目標:

- 【知識及び技能】基礎的な技能を身に付け、能力の向上を図る。表現の方法や形式を幅広く理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】作品の意図に基づいて構想し表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考え、美しさを味わうことができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育む。感性を高め、芸術に触れることで心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 書道 I (趣味書道) の目標:	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
書の内容や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の内容に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書の内容や美しさを感受し意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の内容や文化の意味や価値を考え、書の内容を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	【思考力、判断力、表現力等】
主体的に書の内容や活動に取り組み、生涯にわたり書写を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の内容や文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	相当時数	
		漢	仮	仮							
1 学期	A 単元 ●漢字、ひらがな、カタカナの基礎的な書き方を学ぶ。 【知識及び技能】 ・活字との違いや本来の手書き(書写)の美しい字形とはどういうものか、毛筆と硬筆両方を使って確認させる ・字際を知ることによって、より正しい形を理解させる ・誤りやすい形を確認 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字、ひらがな、カタカナの違いとそれぞれの特徴を理解させる ・普段の自身が書く文字の癖を把握させる 【学びに向かう力、人間性等】 ・ワークシートに各ポイントをまとめさせる	基礎的な字形の学習 「文字を美しく(正しく整えて)書く」ためのポイントを学ぶ。 ※毛筆、硬筆を適宜両方用いて学ぶ ①漢字 ②ひらがな ③カタカナ				○書写能力が身に付いているか。 ○用具用材の効果的な使い方ができているか ○活字との違いを理解しているか。 ○基礎知識からの応用ができているか。 ○ワークシートに要点をまとめられているか。					12
	●うちわ制作 【知識及び技能】 ・うちわに書く文字と色の調和を考えさせる ・伝統的な和紙の染め方で色付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 ・歳時記より夏の言葉を選び、表現にあった書体と大きさで書かせる 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活に生かすなど書の幅広い表現方法を知る	暮らしの中の書「うちわ作り」 和紙を板締め絞りの手法を使って染め、文字を書く				○基礎的な字の書き方を生かして表現にあった書き方ができたか ○文字そのものに加え、配置や余白の使い方を工夫することができたか ○書の幅広い表現を知ることができたか					8
2 学期	●漢字かな交じりの書 【知識及び技能】 ・五體字類を使って字調べさせる ・調べた中から適切な書き方を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・文字の大きさ、行間、余白、書体、落款に留意し、表現方法に合った用具・用材を決める 【学びに向かう力、人間性等】 ・構成に工夫し作品を書く ・生徒同士で作品の鑑賞をしながら書の上さや美しさを味わって捉えている ●実用書 【知識及び技能】 ・定型書式の正しい書き方や決まりを理解する ・表書きの決まりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・大きさ、位置に留意しながら書かせる ・筆ペンの特性を知り、適切な使い方を覚える 【学びに向かう力、人間性等】 ・実際の金封を使って書かせるとともに金封の扱いを知る	漢字かな交じりの書 ①(半紙) 詩文 ②(半切) 自分の用意した言葉で書く				○五体字類の使い方を知り、効果的に使うことができたか ○表現したいイメージに合わせた字形や構成に工夫して作品作りができたか ○生徒同士で作品の鑑賞をしながら書の上さや表現に幅広さを味わうことができたか					22
	●臨書 【知識及び技能】 各古典の書体や用筆、運筆とのかわりについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 各古典の書体や書風に即した用筆、運筆、線質、字形、全体の構成について構想し、工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う	臨書 ①古典を自ら選び臨書する ②表装をする				○各古典に基づく基本的な用筆、運筆、線質、字形や構成を生かした表現を身につけているか ○各古典に基づく基本的な用筆、運筆、線質、字形や構成について構想し、工夫しているか ○主体的に書の幅広い表現と鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか					4
3 学期											
										合計	46

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科 外国語 科目 英語演習 I

教科 外国語 科目 英語演習 I 単位数: 2 単位

対象学年級: 第 3 学年 1 組 8 組

教科担当教員: 手塚 櫻井 本尾

使用教科書: (Vision Quest English Logic and Expression I 啓林館)

教科 外国語 の目標

【知識及び技能】学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある発想の違い、表現方法【読解力、判断力、表現力等】幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現する。【学びに向かう力、人間性等】英語に興味・関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

科目 英語演習 I の目標

【知識及び技能】	【読解力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある発想の違い、表現方法の違い、表現方法の違いなどを理解することができる。	幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。	英語に興味・関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	価値			評価規準	知	意	配
		関	読	書				
1 学期	<p>What do you want to do after school?</p> <p>【知識及び技能】様々な動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現できる。</p> <p>【読解力、判断力、表現力等】日常生活や会話について、自分の考えや気持ちや伝えたいこと、相手に尋ねたいことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】日常生活や会話について、自分の考えや気持ちや伝えたいこと、相手に尋ねたいことを表現しようとする。</p>	動詞の用法	動詞を用いた素作文	動詞を用いて英語でやり取り				13
		<p>Did you hear about the new shop?</p> <p>【知識及び技能】受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えさせる。</p> <p>【読解力、判断力、表現力等】日常生活や会話される生徒同士の自然な会話の流れや自分の感情や物事を表す表現を用いる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】日常生活や会話される生徒同士の自然な会話の流れや自分の感情や物事を表す表現を用いようとする。</p>	受動態の用法	受動態を用いた素作文	受動態を用いて英語でやり取り			
2 学期	<p>I'm happy to have you with us.</p> <p>【知識及び技能】様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報や感情を伝えさせる。</p> <p>【読解力、判断力、表現力等】誕生日会を舞台に語り上げられる友だち同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を用いる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】誕生日会を舞台に語り上げられる友だち同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を用いようとする。</p>	不定詞の用法	不定詞を用いた素作文	不定詞を用いて英語でやり取り				13
		<p>What sport do you like playing?</p> <p>【知識及び技能】動名詞の様々な用法を学び、動名詞を用いた様々な文で伝えさせる。</p> <p>【読解力、判断力、表現力等】所属するスポーツチームについて話す会話からチームに誇りや、見学を勧めるたりする表現を用いる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】所属するスポーツチームについて話す会話からチームに誇りや、見学を勧めるたりする表現を用いようとする。</p>	動名詞の用法	動名詞を用いた素作文	動名詞を用いて英語でやり取り			
2 学期	<p>Digital media has come a long way.</p> <p>【知識及び技能】名詞を修飾する分詞の用法や構造的な用法、また分詞構文や付帯状況を示す分詞を用いて文章を書くことができるようにさせる。</p> <p>【読解力、判断力、表現力等】デジタル、コミュニケーション: 留学生とのやり取りから、メディアを構成したコミュニケーションについて意見を述べ、情報を加えて詳しく説明する会話をする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】デジタル、コミュニケーション: 留学生とのやり取りから、コミュニケーションを通じて意見を述べ、情報を加えて詳しく説明する会話しようとする。</p>	分詞の用法	分詞を用いた素作文	分詞を用いて英語でやり取り				13
		<p>That's why I decided to go back.</p> <p>【知識及び技能】関係詞を用いて複文を作り、語句を関連し意味を明確に伝え、関係詞を用いて論理の意を素作文を書くことができるようにさせる。</p> <p>【読解力、判断力、表現力等】日本や他国の文化や習わしについて話されるやり取りから、日本特有の言葉や文化、また異文化について紹介し、その違いについて述べる表現しようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】日本や他国の文化や習わしについて話されるやり取りから、日本特有の言葉や文化、また異文化について紹介し、その違いについて述べる表現しようとする。</p>	関係詞の用法	関係詞を用いた素作文	関係詞を用いて英語でやり取り			
2 学期	<p>Which do you prefer, cheaper jeans or more expensive ones?</p> <p>【知識及び技能】疑問に答える様々な用法と表現を理解させ、物事の状態を分かりやすく説明できるようにさせる。</p> <p>【読解力、判断力、表現力等】フェアトレード (公正取引) について話される会話から、物事を提案し、相手の意見を尊重する仕方を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】フェアトレード (公正取引) について話される会話から、物事を提案し、相手の意見を尊重する仕方を理解しようとする。</p>	比較の用法	比較を用いた素作文	比較を用いて英語でやり取り				13
		<p>I think it's a good idea.</p> <p>【知識及び技能】仮定法を用いて、事実と違うことや実際に起こりえないことを述べる文を書くことができるようにさせる。</p> <p>【読解力、判断力、表現力等】日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の意見を求めたりする英語表現を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の意見を求めたりする英語表現を理解しようとする。</p>	仮定法の用法	仮定法を用いた素作文	仮定法を用いて英語でやり取り			
								1
合計								105

保谷 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語演習Ⅱ

教科：外国語 科目：英語演習Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：手塚

使用教科書：（Vision Quest English Logic and ExpressionⅡ 啓林館）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある発想の違い・表現方の違い・表現方法の違いなどを理解する。さらに幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。目的や場面、状況などに応じて適切に英語を活用する。
- 【学びに向かう力、人間性等】英語に興味・関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

科目 英語演習Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある発想の違い・表現方法の違いなどを理解する。さらに幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。目的や場面、状況などに応じて適切に英語を活用する。	幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。目的や場面、状況などに応じて適切に英語を活用する。	英語に興味・関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。目的や場面、状況などに応じて適切に英語を活用しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	意	記 時 数		
		聞	読	書							
1 学 期	What is your future goal? 【知識及び技能】 様々な動詞の意味と用法を理解し適切に使い分け表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 将来や進路について、自分の考えや気持ちを伝えたり、書いたり、相手に尋ねたりする表現を用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 将来や進路について、自分の考えや気持ちを伝えたり、書いたり、相手に尋ねたりする表現を用いようとする。	・動詞の用法 ・動詞を用いた英作文 ・動詞を用いて英語でやり取り ・動詞を用いて英語で発表	○	○			○	○	○	8	
	What school events do you have? 【知識及び技能】 受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け適切に伝えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 留学生のために催したい学校行事について自分の考えや詳細を順序立てて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 留学生のために催したい学校行事について自分の考えや詳細を順序立てて説明しようとする。	・受動態の用法 ・受動態を用いた英作文 ・受動態を用いて英語でやり取り ・受動態を用いて英語で発表			○	○				8	
	Who is the best athlete? 【知識及び技能】 様々な不定詞の用法を学び詳細な情報を伝えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 好きなスポーツ選手や彼らの達成について具体例や情報を加えて説明するパラグラフを書く。 【学びに向かう力、人間性等】 好きなスポーツ選手や彼らの達成について具体例や情報を加えて説明するパラグラフを書こうとする。	・不定詞の用法 ・不定詞を用いた英作文 ・不定詞を用いて英語でやり取り ・不定詞を用いて英語で発表		○	○					9	
	Is social media safe? 【知識及び技能】 動名詞の様々な用法を理解させ、動名詞を用いた多様な文で伝えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ソーシャルメディアの利点と欠点について話し合わせ、その意見を比較・対比するパラグラフを書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ソーシャルメディアの利点と欠点について話し合わせ、その意見を比較・対比するパラグラフを書こうとする。	・動名詞の用法 ・動名詞を用いた英作文 ・動名詞を用いて英語でやり取り ・動名詞を用いて英語で発表			○	○				8	
定期考査								○	○	1	
2 学 期	How does overusing energy affect us? 【知識及び技能】 名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法を理解させ、分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いた文を書くことができるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 深刻な環境問題について理由や因果関係を示すパラグラフを書く。 【学びに向かう力、人間性等】 深刻な環境問題について理由や因果関係を示すパラグラフを書こうとする。	・分詞の用法 ・分詞を用いた英作文 ・分詞を用いて英語でやり取り ・分詞を用いて英語で発表		○	○					8	
	What are some differences? 【知識及び技能】 関係詞を用いて複文を作らせたり、語句を限定させて補足説明を加えたりする文を書けるようにさせる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す文も書けるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 海外旅行の疑問に関して自分の主張や理由の根拠を示す引用を用いてパラグラフを書く。 【学びに向かう力、人間性等】 海外旅行の疑問に関して自分の主張や理由の根拠を示す引用を用い	・関係詞の用法 ・関係詞を用いた英作文 ・関係詞を用いて英語でやり取り ・関係詞を用いて英語で発表			○	○				9	
	定期考査								○	○	1
	Do all Japanese people need to speak English? 【知識及び技能】 比較に関する様々な用法と表現を理解させ、物事の状態を分かりやすく説明できるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 公用語について書かれた記事の構成や要旨を理解させ、要約をパラグラフにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 公用語について書かれた記事の構成や要旨を理解させ、要約をパラグラフにまとめようとする。	・比較の用法 ・比較を用いた英作文 ・比較を用いて英語でやり取り ・比較を用いて英語で発表		○	○					8	
1. Japan open enough? 【知識及び技能】 仮定法を用いて事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の教育制度に関する発表を開き、要点を理解させ、要約をパラグラフにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の教育制度に関する発表を開き、要点を理解させ、要約をパラグラフにまとめようとする。	・仮定法の用法 ・仮定法を用いた英作文 ・仮定法を用いて英語でやり取り ・仮定法を用いて英語で発表			○	○				8		
定期考査								○	○	1	
合計									70		

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 家庭科 科目 実用家庭

教科： 家庭 科 目： 実用家庭 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 選択

教科担当者： 新倉

使用教科書： 家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）

教科 家庭基礎演習の目標：

- 【知識及び技能】 家庭・衣食住・消費・住居等々について理解し、それらに関わる技能の習得。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や社会生活の中の問題点を見だし、解決策を模索し、論理的に表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 協議を通し、よりよい社会構築に向けて、実践しようとする。

科目 実用家庭 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立に必要な調理技術や、縫製技術等の基礎技術等の知識を会得し、生活の中での実践につなげる。	学習した内容を理解し、自己の生活課題や社会的課題を見つけ、解決方法を模索し、適格な表現でまとめることができる。	家族・子供、経済等に関する制度や法律に関心をもち、他者との関係の中で、住みやすい社会を築き上げる視点を持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A単元 自立と共生 【知識及び技能】 職業を選択し、自立した一人暮らしについて考える。 【思考力、判断力、表現力等】 職業調査の発表。一人暮らしの経済について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 職業調べ、住宅物件選び等を自主的にを行い、発表・質疑応答を通して多面的な視野を獲得する。	・指導事項 職業調査・求人票の読み方・一人立ちの住宅探し ・教材 教科書・副教材「これぞあなたひとり立ち」・プリント・DVD ・一人1台端末の活用 ・レポート・発表	【知識・技能】 各分野の仕事に関心をもち、自分の進路につなげようとする取り組みができる。 【思考・判断・表現】 住宅物件情報を読み取り、住トラブル、環境に配慮した住生活に関心を持つことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業調査・選択、住宅物件選びなどを自主的にを行い、適格に発表することができる。	○	○	○	12
	B単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 生活しやすさの基本を知り、改善につなげる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活を見直し、解決策を検討する。 【学びに向かう力、人間性等】 家族の生活時間や、衣食住に関する事に関心をもち、一人で取り組むだけでなく、協働することの意義を探る。	・指導事項 自らの生活を見直し、充実向上・改善を必要とする生活課題を発見させる。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 ・レポート・発表	【知識・技能】 写真・資料・実験・調査結果などの記録をもとに、結果をまとめることができる。 【思考・判断・表現】 自らの生活基盤である家庭内での生活向上を目指し、創意工夫につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族の協力も得て改善したプロセスを報告書にまとめ、家族・友達等の評価を受ける。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	A単元 保育 【知識及び技能】 身の周りの材料を用いた玩具や、おやつ作りの演習を通じて、子供の遊び・食生活についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 2年次に学習した内容を踏まえ、子供を取り巻く環境の様々な課題について考えさせる。子供の発達を促す遊びの演習をする。 【学びに向かう力、人間性等】 児童文化財や、伝承遊びについて調べ、素朴な遊びを体験する。	・指導事項 子供を取り巻く環境について考察させる。様々な角度からの子供の遊びを考えさせる。 ・教材 教科書・図書館での文献 ・一人1台端末の活用 ・グループ研究・発表	【知識・技能】 子供の発達を理解し、成長に合ったおやつや玩具が作製できる。 【思考・判断・表現】 子供を取り巻く様々な環境や社会状況を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子供を楽しませる遊びの実践ができる。	○	○	○	10
	B単元 食文化食生活 【知識及び技能】 旬の食材を活用した栄養バランスの良い献立作成と調理。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の食文化の考察。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の昼食に必要な栄養素について理解する。	・指導事項 栄養・食品の知識をもとに、バランスのよい食事計画をさせる。世界の食文化に触れさせる。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 ・調理実習	【知識・技能】 栄養・食品の知識をもとに、バランスのとれた献立作成ができる。世界の食文化を理解する。 【思考・判断・表現】 食品の特性と調理との関係を理解し、実際の食事作りに向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習に積極的に参加し取り組む。	○	○	○	13
	C単元 被服製作 【知識及び技能】 ミシンを使用し防災リュックを作製する。 【思考力、判断力、表現力等】 防災に対する関心を深め、非難時に必要な品が入るバッグを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 防災リュックを作製することにより、防災意識を高めながら、物作りに興味・関心を持つ。	・指導事項 小・中学校で学習したミシンの使い方を復習しながら発展させる。 ・教材 教科書 ・ミシン	【知識・技能】 ミシンを使った縫製技術を身につける。 【思考・判断・表現】 防災グッズについての確認をしながら、作品の制作に取り組む。 【主体的に学習に取り組む態度】 ボタンや刺繍などの手芸を用いて作品を発展させる。	○		○	11
3 学期	A単元 生活設計 【知識及び技能】 精神的な自立、経済的な自立、生活的自立、性的自立に向けて、これまでの家庭基礎で学んだ技術や知識を確認し、これからの人生を設計する力をつけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の生活設計、課題の解決について主体的に取り組み、自分や家庭・社会がよりよくなるための目標について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シュミレーションさせる。	・指導事項 将来の自立に向けて、授業で学んだ技術や知識を確認させ、これからの人生設計につなげる。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 自立の種類とそれぞれの具体的な内容を把握する事ができる。 【思考・判断・表現】 男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような生き方をしたいのかを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 未来の自分自身と社会のあり方を考えようとする姿勢がある。	○	○	○	10
							合計 70

